

活動報告

簡易炭焼き体験

12月7日、簡易炭焼き体験を行いました。寒空の下、参加者2人と組合員2人で、基礎部分からしっかりと体験を行う事ができ、簡易かまどの作り方や着火の方法など、メモを取りながら真剣に取り組んでいました。

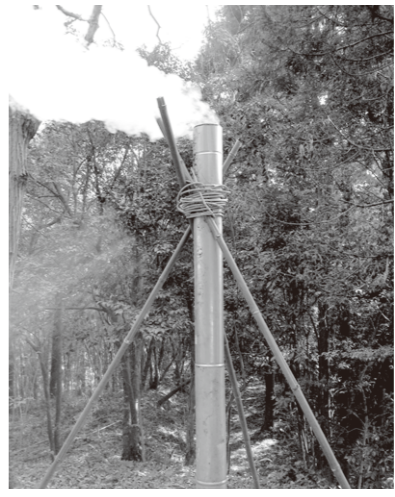
順調に工程も進み、かまど回りにある大量の落ち葉を使い、たき火をしながら炭の出来上がりを待ちました。お茶用の湯を沸かしている最中、参加者の人から紫芋の差し入れを頂きましたので、早速たき火の中へ入れ、おいしい焼き芋とお茶が出来上がりました。

たき火を囲み、楽しい談話をしながらの昼食後は、煙が透明に変わるのを待ちます。大量の水分を含む煙は重く、真っ白い煙となっています。煙突が十分に温まり、窯の中の水分が無くなり始めたら、煙の色も徐々に薄くなっていきます。15時くらいに煙が透明になったので、窯を完全に閉めてしまい、16時に窯開きを行いました。残念ながら失敗でした。

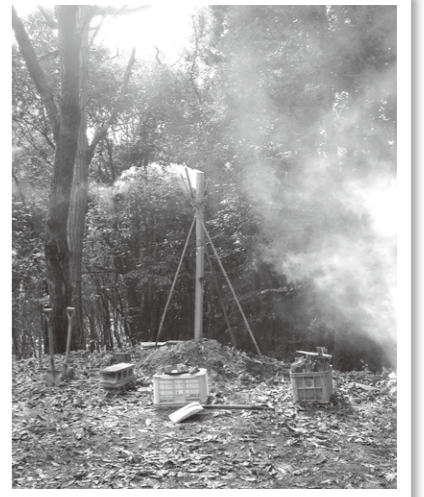
原因は恐らく、うちわでの「あおぎ」不足で、成功した竹炭が少なく、竹が半焼きの状態となってしまいました。参加者の皆さまには大変申し訳なかったのですが、参加者、組合員共に非常にいい勉強となりました。参加者には、事前で作っていた竹炭をお持ち帰りいただき、失敗の原因をきちんと説明し、納得いただいております。面白さの中にある難しさも、今回の体験で勉強していただいたと思います。



▲大事なあおぐ時間



▲煙が出てきました



▲完成

イベント情報

シイタケ駒打ち体験

原木しいたけを作るには、最適の時期がやってきました。間伐したクヌギを使用し、原木となるホダ木を作ります。間伐材の2次利用方法の一つとして里山保全につながります。スーパーなどで購入しているシイタケを、自分で栽培してみませんか？ 電動ドリルで穴開けし、金づちで「コマ」を打ち込む簡単な作業です。小さいお子さんも作業ができ、参加者には、昨年作ったホダ木を1組につき1本差し上げますので、ぜひご参加ください。

- ◆日時：2月15日(日) 10時～12時
(9時30分から管理棟で受け付け)
- ◆場所：立神峡公園 火の広場
- ◆募集組数：5組(20人程度)
- ◆参加費：大人 750円/人、子ども 500円/人
- ◆服装：長袖の服・長ズボン(汚れてもいい服装、防寒着)、軍手、帽子、飲み物



▲電動ドリルで穴開け



▲駒打ち

お問い合わせ・お申し込み先
立神峡公園管理組合 ☎62-1543 tategamikyou@yahoo.co.jp (8:30~17:30 火曜定休日)

町民文芸

短歌

- 帰省児を喜ばさんと庭の木に
下げし電飾五色に煌めく
北野津 宮本 末秋
- 傘寿過ぎ毛染めもやめて運動に
日光の道を用心しつ
高塚 桑原ゆき代
- 訪ふ客の有りて今年も明けぬれば
座敷は華となりけるかも
吉本 高橋 澄子
- 悠悠と鳥舞い人はゆつくりと
着地決まったハングライダー
西野津 古崎スエノ
- 賑やかな旅の一行来たような
晦日の夜の孫子一座
南鹿野 尾崎 京子
- お天気に恵まれたりし三ヶ日
お気の毒なり北国の人
吉本 橋村 正之
- 湯上りのつるりとなれる人の顔
友として優しき笑顔に成るにけり
西野津 古崎 栄子
- ながらえて永遠に去りゆく我なるや
無常の今に幸あれかしと
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

俳句

- 六十歳以上四十二パーセント氷川町
盛衰握る老人パワワー
西上宮 村内 一誠
- 大寒に阿蘇の大地を踏みしめて
山の寒さに心やわらぐ
新村南 濱田 照昭
- 燈り点くビニルハフスや聖夜近し
北野津 宮本 末秋
- 成人式孫のアキちゃん晴着で来る
高塚 桑原ゆき代
- 賀状読む一筆書きに頬ゆるむ
吉本 高橋 澄子
- 曾孫と暮らす松内初暦
西野津 古崎スエノ
- 干し柿の朝日を受けてドレミファソ
南鹿野 尾崎 京子
- 初雪や窓辺にちらつく年の内
西野津 古崎 栄子
- 小鳥くる妻の幸せ松の内
町 香山菊童子
- 風を呼び天空に舞ふどんどの火
町 香山セツ子
- ふくよかな孫の正座か鏡餅
桜ヶ丘 宮崎敬四郎
- 初春や曾孫のしぐさ華やきて
桜ヶ丘 吉田 照子

山の駅

吉本 橋村 正之

山の小さな駅だけども
昔はそこそこ賑わった
時の流れに呑み込まれ
今じゃひっそり無人駅
子供の頃は格好の
遊び場だった待合所
騒ぎ過ぎては叱られた
駅員さんが懐かしい
大きな夢を胸に抱き
一番列車霜の朝
見送る人に手を振った
あの日は三年前の事
都会の水に馴染めず
重い心を引きずって
降り立つ夜の山の駅
あの日と同じ佇まい



投稿いただきました作品は、短歌・俳句それぞれ一句とします。必要な場合は、ルビを付けてください。また、確認のためお電話することもありますので、連絡先の記入をお願いします。

空き家バンクへの登録をご検討ください

「空き家バンク」は、町内の賃貸・売却できる空き家を「空き家バンク」に登録していただき、その物件の情報を、町への移住を希望される人や住居をお探しの人へ、町のホームページなどを利用して提供する仕組みです。

空き家バンクに登録すると

- こんなメリットがあります！
- ①空き家に人が入ることで、空き家の管理をする必要がなくなる
- ②家賃収入が発生する
- ③使っていない空き家に人が入ること町での活性化に役立つ

空き家バンク登録から契約までのながれ

- ①登録申込書を提出していただいた後、担当職員が現地調査に伺い、物件の様子や間取りなどを確認します。
- ②登録された情報を町のホームページに掲載します。物件の所在地や間取り、設備などを写真も含めて掲載します。
- ③交渉契約に町は直接関与せず、当事者間で行っていただきます。宅建業者の仲介を希望される場合は、町内業者をご紹介します。

お問い合わせ先：総務振興課 まちづくり推進係 ☎62-2317(直通)